能登香の里
あわい村 NO. 14
発行
平成２６年６月１６日
粟井地区・村創りの会
事務所（たぬき茶屋）
７６－１３７３
AWAIMURA.COM

絆とやすらぎの里粟井村

「粟井地区・村創りの会」

◆【能登香の里小房」の田植え祭り【六月一日】

田植え作業が無事終わり、秋の収穫が豊作になるよう神々に守って戴くようお願いする田植え祭り。今年は、シャボン玉クラブ（乳幼児クラブ）の親子約15名、小学生15名とその保護者約10名、役員等が40名、計約80名弱と大盛会でした。子ども達が大勢集まると地区も本当に元気が出ます。希望が湧きます。

美作市からは、萩原市長、山本議長、江見経済部部長、田中作東総合支所長、美作市社協からは、大畑様、宇佐見粟井小学校校長等たくさんの人に来ていたきました。

当日を迎えるまでには、準備が大変でした。特に前日の能登香の家周辺の草刈りは、一番暑い時間帯と重なりきつい作業になりました。でもみんなで和気藹々楽しく出来、絆が深まりました。

今後は、10月の稲刈り体験、11月2日予定の「能登香の里小房での収穫祭」へと繋がっていきます。みなさんのご協力よろしくお願いします。

「写真右、市長と早乙女（粟井小六年生3人）写真中、昼食後の餅つき体験、写真下、豪華景品を目指してのビンゴゲーム」

◆【能登香の里小房」の整備作業 【五月二十八日】

登山道整備

粟井地区全景

「能登香の里小房」の遊歩道を整備しました。林道から上五〇〇メートルほどが、もう一〇年以上使われていなくて茅や草に覆われ、枯れ松の倒木が道をふさいでいました。上部の休憩小屋はしっかりしているものの、檜の植林が視界を遮り景色が見えませんでした。山本雄一郎様のご厚意により檜を伐採、粟井地区全体が見渡せるようになりました。次は、堂屋敷頂上までの登山道を切り開き、最終的には堂屋敷頂上から小房山頂上までの尾根コースを作る計画です。これで「粟井オルレ」の第一コースが出来上がります。秋が楽しみです。

（写真上は、周りの木を切り姿を現した休憩所横の石仏、次が、倒木と茅に覆われていた登山道、そして伐採前と伐採後の様子です。右上の全景中央が小学校、奥が春日座です。）

◆【能登香の里小房」の整備作業

景観作物・ヒマワリの栽培

【六月三日】

以前お知らせした耕作放棄地に役員で「ヒマワリ」の苗を移植しました。みんなで植えていただく予定でしたが、あまりに広いので、機械で植えました。後は如何に獣害から守るか対策が必要です。うまくいけば、ヒマワリの花や種をどのように利用するか、みなさんへの還元を計画中です。

第1回　作州草刈りオリンピック

6月7日（土）美作市東谷上にて実施。「粟井地区村創りの会」も参加し、交流を深めました。広い東谷地区全体に耕作放棄地があり茅に覆われています。ここを見ると粟井地区の今後の課題が明確に認識できます。

都市農村共生・対流総合対策交付金事業

◆夏バージョンのパンフ・制作中

春バージョンが「田植え祭り」中心だったのに対し、夏バージョンは体験メニューが中心になります。夏休みのファミリーをつかむために、関西方面へキャラバンに出かけます。お知り合い等に是非おすすめ下さい。

地区民全員で営業していただけるとうれしいです。粟井の財源にもなります。

◆Tシャツ・制作中

好評だったジャンパーに続いて、夏向きのTシャツを制作中です。デザインは、粟井小学校の児童が下絵を描き赤星隊員がデザインしました。色もサイズも選べます。近日中に注文用紙を回します。各戸何着でも受け付けます。

粟井地区・社会福祉協議会

『ふれあいの集い』

粟井地区村創りの会後援

粟井地区社会福祉協議会では、粟井地区における「生活・福祉課題」を考える中で、「ふれあいの集い」を実施することが決まりました。詳細は、七月二十九日の粟井地区社会福祉協議会役員会で決まります。皆様のご協力よろしくお願いします。

粟井地区

「ふれあいの集い」

日時：10月18日（土）
午前１０時３０分～午後１時
場所：粟井小学校 体育館
参加者：７５歳以上の粟井地区民
内容：（詳細は今後決定）
①昔懐かしい映像
②カラオケ等
③趣味発表等
（アイデア募集中）
手作り昼食 歓談

④ゲーム
（アイデア募集中）

主催：粟井地区社会福祉協議会
後援：粟井地区村創りの会
：美作市社会福祉協議会